

1. コロナウイルスについての基本的な情報

【主な感染経路】厚生労働省コロナウイルス Q&A より

○飛沫感染

感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され、別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染。

※閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされている。(WHO は、一般に、5 分間の会話で1 回の咳と同じくらいの飛まつ(約 3,000 個)が飛ぶと報告)

○接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れてウイルスが付き、別の人がその物に触ってウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染。

※WHO は、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大 72 時間、ボール紙では最大 24 時間生存するなどとしている。

【接触とは…】 北海道大学西浦教授より

「1m 以内での 2～3 往復の会話」、「握手」、「電車で隣り合う」「肩をたたく」、など…

⇒ソーシャルディスタンス(2m 程度)を取り、あまり近寄らないようにすることが大切になる。

【濃厚接触の定義】厚生労働省コロナウイルス Q&A より

- ・必要な感染予防策なしで、対面で 1 m の距離で 15 分以上の会話をしたもの。
- ・必要な感染予防策をせずに手で触れることをしたもの。

⇒万が一、感染者が出た場合には、濃厚接触者として、保健所等に報告することとなる。

以上の点を踏まえると…



大会の運営の中で、飛沫感染や、接触感染のリスクを完全になくすことはとても困難である。リスクを背負った上で、生徒の自己実現、表現の場を確保するために、最大限の予防対策を講じる必要がある。日本陸上競技連盟ロードレース再開についてのガイダンス及び、日本スポーツ協会のスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインに基づき、さらに今大会の特性を踏まえた予防対策を行いたい。さらに、その予防対策について、生徒、保護者、顧問、関係者全員にしっかりと周知徹底し、理解してもらった上で、参加することが条件になる。



【ガイドラインのポイント】

- ①大会参加者及び関係者に対し、体調チェックを確実に行うこと。
- ②必要以上の『接触』をしない、させないような工夫。濃厚接触者を出さない。(指導&場所&時間)
- ③個人の予防対策(手洗い・洗顔等)を積極的に実施させる。(掲示&場所&動線)

2. 大会開催に当たっての準備・対応

(1) 受付

- ・役員受付は、雨天走路に設置する。(換気を考慮しすべての窓を開放する。)
- ・TIC 及び学校受付は第4ゲートに設置する。
- ・受付の流れについては以下の通りとする。

①【TIC に書類提出】

選手（出場選手全員分）：JAAF 健康管理チェックシート兼大会参加承諾書

引率者：大会観戦承諾書（引率者用）を提出⇒AD と交換

②【学校受付（TIC 脇）】

出場校：ゼッケンを受け取る。

- ・受付には、アルコール消毒と非接触の体温計を設置。並ぶ際のソーシャルディスタンスを促す目印を設置。
- ・プログラムは事前に HP より各校でプリントアウトしてくる。配布するものについては、事務局が事前に袋に詰めておき、当日は、速やかに受付が進むようにする。

③役員受付

- ・役員：当日の検温と体調を申告（名簿に記載） ※提出書類はありません。

(2) 手洗い場所・トイレ

- ・手洗い場には、石鹸を用意する。
- ・トイレや手洗いに場所等、共有で使用する部分については、こまめに消毒する。
(庶務及びマーシャル)
- ・選手及び役員は陸上競技場及び野球場のトイレ及び手洗い場を使用し、密集することがないように工夫する。また、一般利用者の方との接触を極力さける。

(3) チーム陣地、待機スペースについて

- ・選手待機は、サイドスタンド及びメインスタンドを使用し、あらかじめ支部ごとに指定された場所にする。その他の場所には設置しない。**雨の場合には各校でテント等の準備をすること。その際換気が十分にされている状態になるよう心がける。**
- ・チーム陣地を設置する際、他校との距離が2 m以上開くようにする。
- ・**女子はレース終了後、速やかに帰宅するように努めること。**
- ・原則、女子のレース終了後は会場を出て、男子との入れ替えを行い、接触機会を減らす。
⇒バスなどの都合で、事前に大会事務局に申し出た学校については、この限りではない。

(4) ゴミの廃棄

- ・ゴミについては、必ず各自で持ち帰る。大会運営関係のゴミ以外は回収しない。

(5) 大会関係者及び観客の入場制限・管理（大会会場への移動方法も含む）

- ・大会は無観客とする。
- ・大会会場には、選手（登録メンバー）及び引率者、競技役員以外は入れない。
(保護者・応援生徒・付き添いの入場禁止)
- ・大会会場への交通手段については、各市町村教育委員会及び、所属長の方針に従う。極力、他校との接触をなくし、密にならないように配慮し、各校で生徒に指導する。
ただし、会場までの移動手段（台数）は大会事務局に監督会議の際に報告する。
貸し切りバス or 自家用車（現地集合の送迎） or 公共交通機関
- ・前日及び当日の宿泊は行わない。

【保護者への対応】

- ・保護者の応援は禁止することを、各顧問に伝達。HP にも掲載し、周知徹底を図る。
- ・参加承諾書に、保護者の観戦応援の禁止の内容を入れることで、事前に理解してもらう。

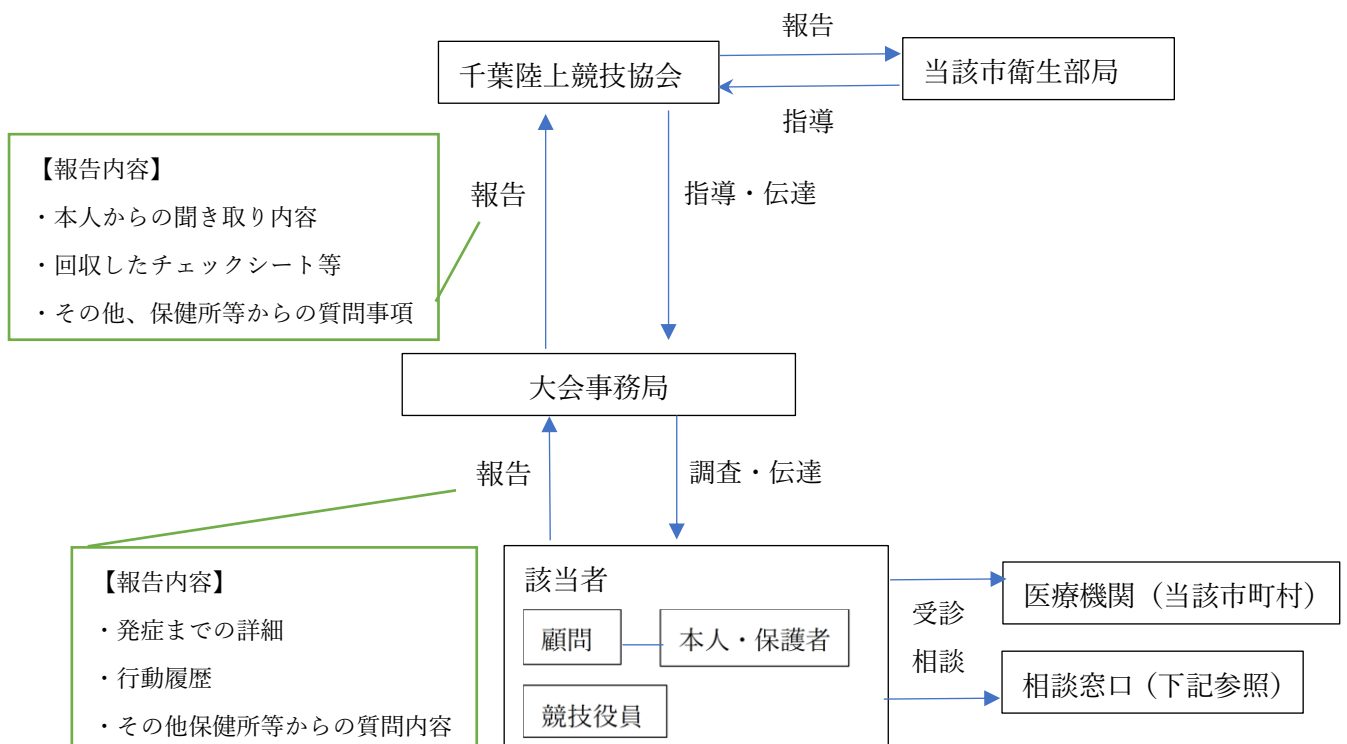
(6) 感染確認時の対応

- ・万が一大会開催日及び、大会終了後 2 週間の内に感染者が出た場合は、以下の手順に沿って対応をする

【大会開催中】

- ・発熱等、感染の疑いがある症状が出た場合。
 - ①該当者（顧問）より、医務に相談。
⇒別室（役員室②）に入れる。フェイスシールド等の予防対策をした医師又は看護師が対応。
 - ②大会役員の医師又は看護師の判断を仰ぐ。
⇒場合によっては後方支援病院、相談窓口に連絡をし、対応を確認。
 - ③詳細を大会事務局より、千葉陸上競技協会事務局に報告⇒当該市衛生部局に連絡・協力

【大会終了後 2 週間以内】



●千葉県電話相談窓口（24 時間体制）（千葉県庁）

電話番号 03-6747-8414 受付時間 24 時間（土日・祝日を含む）

- ・回収した体調管理チェックシート及び承諾書等の個人情報、感染が確認された場合のみ使用する。それ以外については、大会終了後 1 か月後に大会事務局が破棄する。

(7) 競技運営上の対応

①W-up について

- ・ウォーミングアップは、競技場及び野球場外周を使用する。競技中のバックストレートのトラックの7、8レーンを開放する。なるべく一般の利用者と接触がないように配慮する。(近くを通る際は、2 m以上距離をとるなどの対応する)
- ・原則として、集団でのウォーミングアップやクールダウンは行わない。

③招集について

- ・フィールド内砲丸投ピット付近を招集場所とする。屋外なので、換気の必要はないが、さらに席を空けて、距離を取って座れるよう、会場づくりをする
- ・荷物置き場に学校 NO がわかる紙(大会事務局が用意)を見えるようにし、学校ごとに荷物を置き、他校との接触を避ける。

【選手の動き】

- ①招集場所付近で自分の腰ゼッケンをもらう。
- ②ユニフォーム、腰ゼッケンを見せ招集。その後最終荷物置き場に荷物を置く(競技者係)
- ③荷物を置いた後は、W-up エリア等を使用してよい。(マーシャル)
- ④前の組がスタートしたら、マスクを外して(自分の荷物袋等に入れる。)最終待機場所へ移動する。
- ⑤出発係の指示最終待機場所にレーン順に並ぶ。
※その際他の選手との距離を取るよう配慮する。
- ⑥競技終了後、レーン外の手洗い場で、洗顔及び手洗いを行う。

④スタート前について

- ・荷物置き場を学校ごとに設置し、マスク等を含めて、荷物が他のものと混ざることを防ぐ。
- ・最終待機を番号順に場所を指定することで、距離を取って待機できるようにする。
- ・招集から最終待機場所に入るまでは、選手間の距離が近くなることもあり得るので、マスクを着用させる。
- ・最終待機場所については、マスクを外しているので、話をさせずに待機。

⑤競技終了後について

- ・中継後は外側に抜けて、競技場内の手洗い場で、手洗い洗顔をすぐに行わせる。
- ・荷物置き場に移動後、荷物をもって、自分の陣地に速やかに戻る。荷物置き場に留まらせない。

⑥開会及び閉会セレモニーについて

- ・開会セレモニー、閉会セレモニーは行わない。賞状の配布のみとする。
※賞状メダルの配布場所は、競技場メインスタンド下とする。
※時間についてはアナウンスする。

⑦記録掲示について

- ・記録は、アナウンス及びWEBでの発表のみとする。記録掲示は行わない。

3. 参加者の遵守事項

【選手及び顧問・引率者】

(1) 健康観察及び受付

- ・選手は大会当日の検温を含む JAAF 健康管理チェックシート兼大会出場承諾書(大会 1 週間前の検温と体調チェック、保護者の承諾と押印)を顧問に提出する。

顧問は、学校受付時にチーム(選手全員)の健康管理チェックシート兼大会参加承諾書と引率者の観戦承諾書を提出する。

未提出者については参加することはできない。

※提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。(家庭でとってから提出)

- ・以下の選手は大会に参加できない。なお、そのチームの参加については、大会事務局と相談の上、判断すること。

①発熱があった場合

大会 1 週間前の健康チェックシートで 37.5℃以上の熱が 3 日以上続いた場合、必ず病院を受診し診断を受ける。コロナの感染がなく早い内に熱が下がった場合、保護者の判断で参加するかどうかを決定する。但し、大会 3 日前からの発熱(37.5℃以上)の場合は大会への参加はできない。大会当日の発熱(37.5℃以上)も参加できない。

②大会当日風邪の症状があった場合

③同居の家族や身近な知人に感染の疑いがある方がいる場合。

④過去 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域へ渡航又は、当該在住者と濃厚接触がある場合。

⑤大会開催日の 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該選手、チームは参加を辞退する。

※保健所から濃厚接触者と認められた場合、14 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場はしても構わない。

⑥大会開催 3 週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状(※5)が発症していた場合、原則当該選手は参加を辞退する。

但し、次の 1) および 2) の両方の条件を満たしている場合、大会への出場をしても構わない。1) 感染疑い症状の発症後に少なくとも 8 日が経過している。(発症日を 0 日として 8 日間) 2) 薬剤を服用していない状態で、解熱後および症状消失後に少なくとも 3 日が経過している。(解熱後を 0 日として 3 日間のこと。)

※5 感染疑い症状とは ▼息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合 ▼「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合(症状が 4 日以上続く場合及び解熱剤などを飲み続けなければならない場合)

(2) 大会開催中の注意

●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

- ・選手は競技中以外マスクを着用する。競技中には、マスクをしなくてもよい。ただし、必要に応じて、バフなどのマスクをしてもよい。その際、熱中症対策には十分に気を付ける。

- ・ウォーミングアップ時にマスクを外す場合には、人との距離を 2 m 以上離し、発声はしない。

※競技開始 20 分前までは競技場内、競技中はバックストレート 7, 8 レーンをウォーミングアップエリアとして開放する。蜜を避けるとともに、一般の利用者と接触をしないよう、気を付ける。

- ・スタート付近(第 1 ゲート)は、出場する選手以外立ち入らないこと。

- ・その他の場所で応援をする場合には、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保って行うこと。
- ・学校ごとアルコール消毒を持参し、適宜消毒を行う。こまめな手洗い、洗顔をする。
- ・競技終了後すぐに手洗い・洗顔を行い、その後に荷物をもって速やかに自分の陣地に移動する。荷物置き場周辺に留まらない。

●飲食・ゴミの処理

- ・ゴミは各自で持ち帰る。原則学校ごとにも共用のゴミ袋は作らない。
- ・飲み物、食べ物等は自分で持ってきたものとし、学校ごと共用しない。
- ・会場内で、食事をする場合には、周囲と距離（2 m以上）をとり、向き合うことなく、話をしないで食事をする。黙食を徹底するよう、顧問からも指導をする。

●ソーシャルディスタンス

- ・大会中は他人と接触したり、マスクを着用しない状態で近距離（1 m以内）での会話をしたりしない。 ※濃厚接触の定義を確認し、各校、各自で意識的に行動する。
- ・JOG などをしているときには、2 m以上の距離を取るようにする。
- ・一般の利用者との接触をできる限り回避する。

【大会競技役員について】

（１）基本事項

- ・65 歳以上の役員委嘱は、原則行わない。
- ・生徒の補助員は使わない。
- ・競技役員に、医師又は看護師を委嘱する。

（２）大会開催中の注意

●健康観察及び受付

- ・受付にて、当日の体温及び健康状態を申告する。
⇒名簿に記入する。
⇒必要に応じて、非接触体温計で検温を行う。
- ・選手と同様、健康状態が悪い、感染疑いの人との接触がある場合は、役員をしない。

●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

- ・原則マスクを着用する。
- ・医務については、フェイスシールド、使い捨て手袋、を使用する。
- ・中継所整理員でフィニッシュ後に倒れ込んだ選手に対応する役員は、フェイスシールド及び使い捨て手袋を使用する。
- ・アルコール消毒を、競技場入り口、トイレ、スタート付近に設置するので、適宜消毒を行う。

●飲食・ゴミについて

- ・お弁当のゴミは、各自で持ち帰る。回収を行わない。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止をするとお約束することは難しいと思われます。万が一、新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、主催者としては責任を負うことはできない点をご了承ください。

●チェックリスト

場面	会場・運営の工夫	選手の注意事項	役員の注意事項
会場	選手陣地待機場所の指定。		会場部：朝テープ貼り。昼入れ替えの確認。
招集	☐ 招集所への動線の限定 ☐ 荷物袋、ナンバー表示を設置	☐ マスクを着用 ☐ 必要以上の話をしない ☐ 付き添い等は禁止	☐ 全員揃ったら、スタートまでの流れの説明。（招集担当）⇒説明後移動
荷 物 置 き	☐ 荷物置き場は、学校ごと NO 順に設置 ☐ 1 m以上の距離を取れるようにする ☐ 袋にナンバー表示を行い、他の人と混同しないようにする。 ☐ 雨天時はテントを立てる。	☐ 荷物は、一つの袋などに入れて管理 ☐ 他の人のものには触れない。	☐ 荷物置き場に留ませない（マーシャル） ☐ 整理整頓に努めさせる。
最 終 W-up	☐ 芝生内を開放し、なるべく大きい場所で動けるようにする。	☐ 最終待機場所に入るまでは、マスク着用 ☐ 水分補給をこまめに行う。	☐ マスクの着用を促す（マーシャル）
ス タ ー ト	☐ 2 段階スタートをし、なるべく距離をとる。		
ゴ ー ル 後	☐ ゴール外側に抜けさせて、そのまま競技場に設置した手洗い場に誘導。 ☐ 手洗い、洗顔を行う。	☐ ゴール後はすぐに外側に抜けて、手洗い、洗顔を行う。 ☐ 荷物置き場に移動し、速やかに自陣地に戻る。	☐ ゴール後選手の誘導（感染症対策員） ☐ 荷物置き場に留ませない。（マーシャル）